

徳島県の概要

・地勢

徳島県は四国の東端に位置し、北は瀬戸内海から紀伊水道、南は太平洋に面しています。面積は約4,145km²で、中央部を四国山地が東西に走り県土を南北に分けています。総面積の約75%が森林で、特に四国山地は豊かな森林地帯となっています。

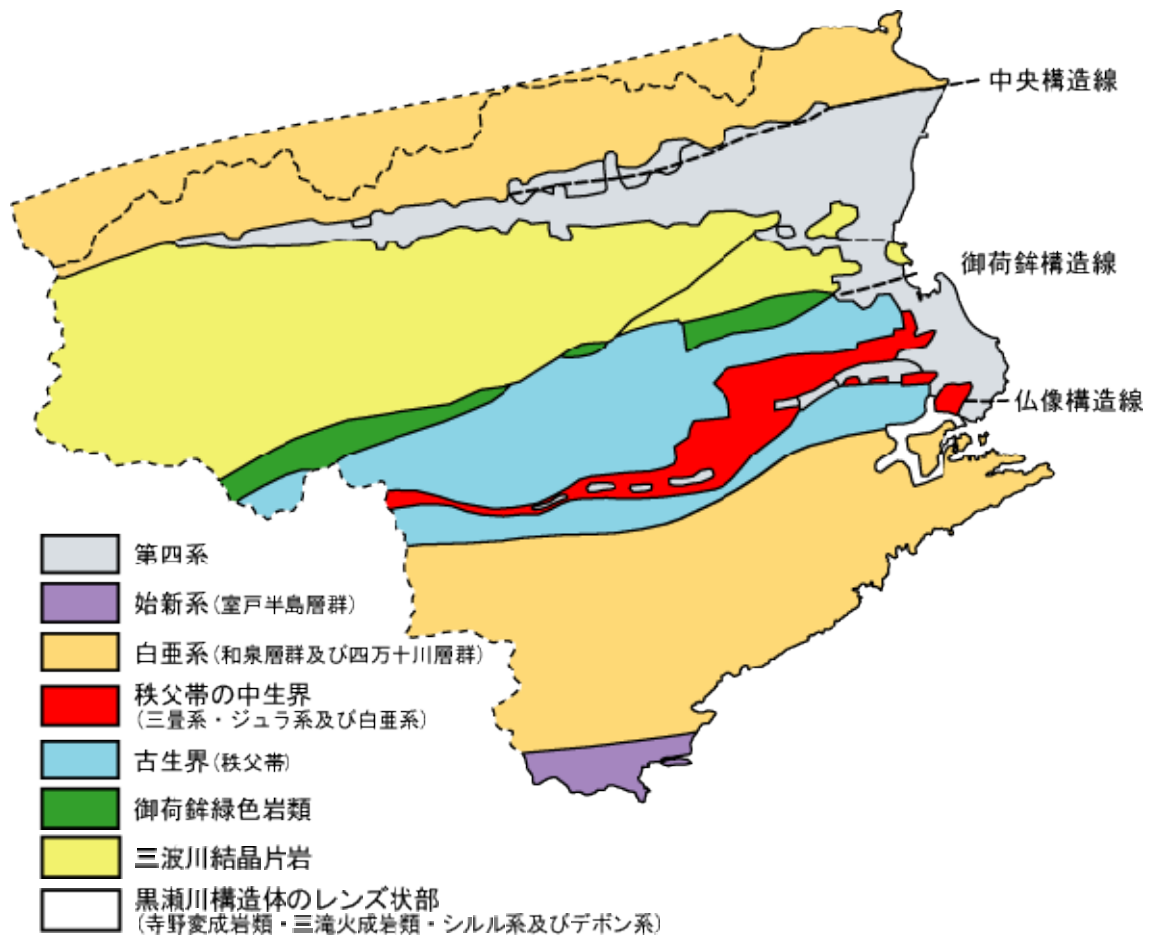
四国山地の北側を流れる吉野川は、くさび形の徳島平野を形成しています。県南部には広い平野は少なく阿南市以南では山地が海に迫り、海岸線は荒磯が多く、県北部とは趣を変えています。



徳島県の地形区分図

・地質

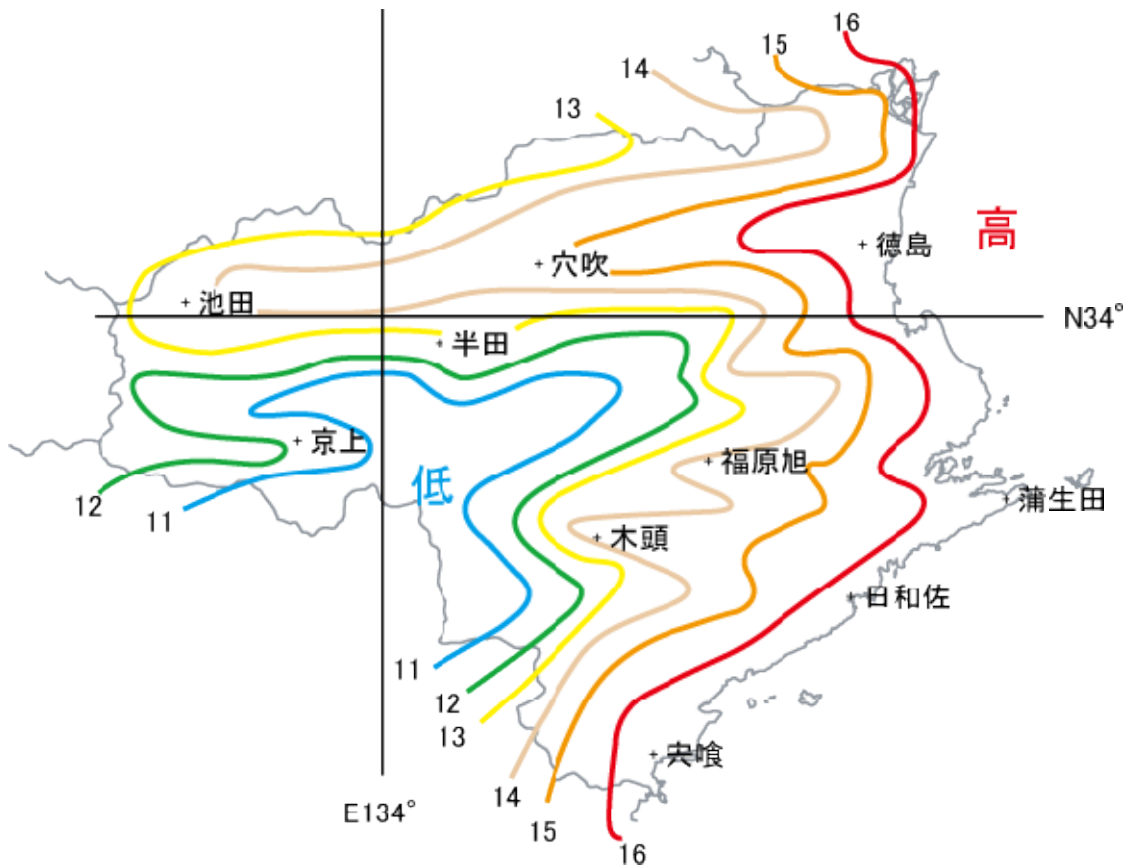
徳島県の地質は、同一地層が東西に延びており、北から南へ和泉層群、三波川帯、秩父帯、四万十帯が配列されています。また、各帯は中央構造線、御荷鉾構造線、仏像構造線に沿って形成された河谷によって分けられています。



徳島県の地質構造図

・気象(気温)

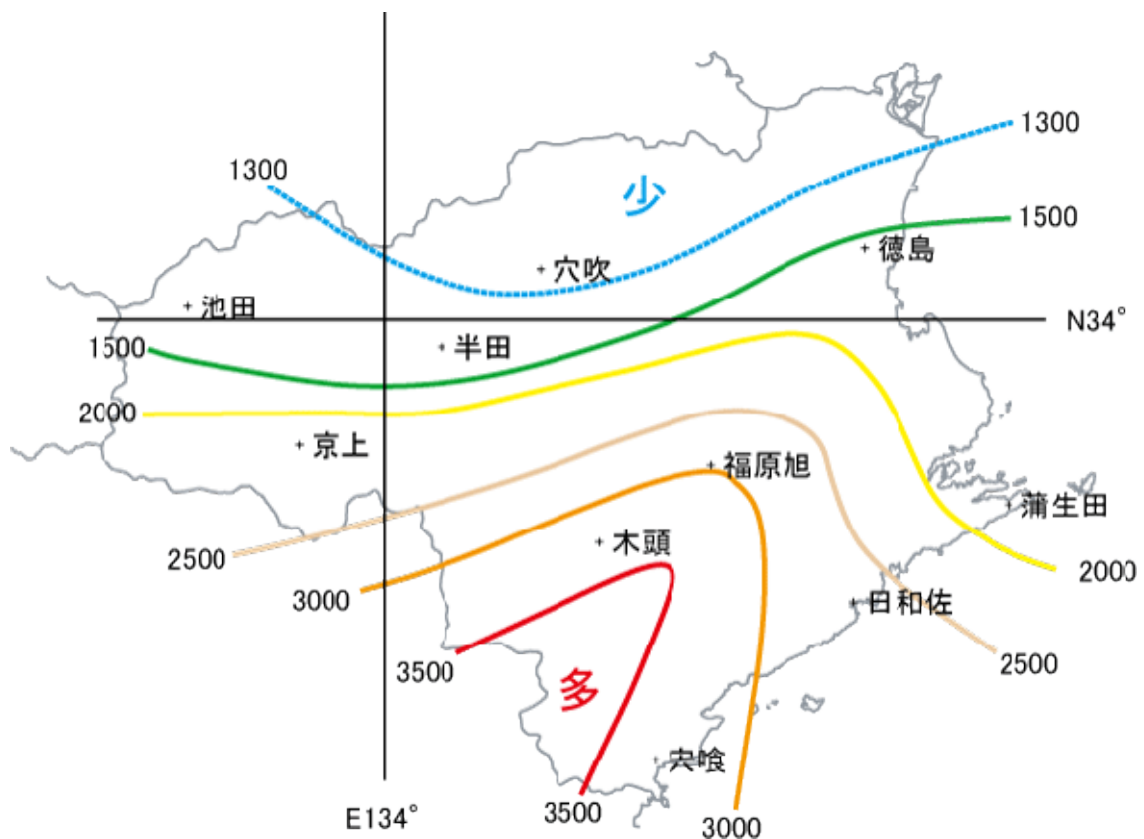
徳島県の年平均気温は、海岸地方が16°C~17°C、南西部の剣山周辺が12.5°C~14.5°Cで、年間を通じて比較的温暖です。



徳島県の年平均気温分布図 (1979-2000)

・気象(降水量)

徳島県の降水量は、県内全域が台風常襲地帯であることから年間降雨量2,000mm以上の地域が7割を占め、特に那賀川上流域と海部川流域は3,000mmを超えており、全国有数の多雨地域となっています。



徳島県の年平均降水量分布図 (1979-2000)